

## 会報・案内

### 第152回放射線科専門医認定委員会議事録

日 時：平成13年 8月24日(金), 25日(土)  
場 所：京王プラザホテル42階(相模ヶ高尾)  
出 席：平松慶博(委員長, 担当理事),  
石垣武男(担当理事), 平木祥夫(担当理事)  
委 員：山田章吾(副委員長), 荒木 力, 渋谷 均,  
中島康雄, 福田国彦, 星 博昭, 松井 修,  
竹田 寛, 榑林 勇, 杉村和朗, 西村恭昌,  
西谷 弘, 林 邦昭, 工藤 祥各委員  
欠 席：玉木長良, 池添潤平, 大友 邦各委員  
議 題：

#### 1. 専門医試験関係

##### 1) 専門医試験受験者および合否について

試験結果は下記の通り決定した。

第12回一次試験願書提出者 288名

受験有資格者288名, 欠席者12名, 受験者276名, 合格者219名

第10回二次試験願書提出者 231名

受験有資格者231名, 欠席者9名, 受験者222名, 合格者169名

##### 2. 一次および二次筆記試験の地方区別実施について

継続審議である一次および二次筆記試験地方区別実施について検討した。地方区別で試験を行った場合の, 経費節減および運営上の問題点等に関してシミュレーションを行い, さらに検討することとした。次回委員会で結論を出す予定。

##### 3. 専門医試験問題の解答を日医放会誌に掲載する件について

日医放として解答を会誌に掲載してほしいとの意見が会員より寄せられた件について委員会で検討を行った。日医放としては現状のままで, 解答は会誌には掲載しない。専門医会の幹事の先生に責任をもって解答集を出して頂くよう申し入れる。試験問題は例年通り9月号に掲載する。

##### 4. 二次口頭試験のコンピュータ化について

平成14年度から診断・核・治療の全部門でコンピュータによる試験を行うが, 登録症例数が不足している。山口大の専門医試験関係のサーバーと学会のホームページをリンクし, より会員がアクセスしやすいようにしたいとの案が出された承された。広報委員会から出されているメールマガジンにも症例入力についてアナウンスしてもらうこととした。症例登録責任者を下記の通り決定した。責任者は期限内に症例を登録するよう指導する(責任者は印)。

各領域の審査員は, 中枢神経: 宮坂和男(北海道大), 頭頸部: 黒崎喜久(順天堂大学), 脊柱: 田中 修(自治医大), 骨関節: 福田国彦(慈恵医大), 心大血管: 竹田 寛(三重大), 胸部: 池添潤平(愛媛大), 中島康夫(聖マリ医大), 肝胆膵・消化器: 大友 邦(東京大), 松井 修(金沢大), 草野正一(防衛医大), 泌尿器: 杉村和郎(神戸大), 西谷 弘(徳島大), 脈管・IVR: 煎本正博(豊島病院), 乳房: 石垣武男(名古屋大), 東野英利子(筑波大), 小児: 荒木 力(山梨大), 核医学: 小泉 潔(東京医大), 治療: 山田章吾(東北大), 田中良明(日本大)

##### 5. 平成14年の試験について

一次試験: 平成14年 8月30日(金)

二次試験: 平成14年 8月31日(土)

願書受け付け: 平成14年 4月15日から 5月7日とすることを決定した。

##### 6. 筆記試験問題作成小委員

平成14年度の筆記試験問題作成小委員の構成(各小委員長)

診断I: 福田, 荒木, 工藤, 平木(脳神経(頭頸部を含む)・骨関節)

診断II: 林, 池添, 中島, 平松(呼吸器・心大血管・小児)

診断III: 松井, 大友, 杉村, 石垣(腹部・肝・胆・膵・泌尿生殖器・内分泌)

核: 榑林, 星, 玉木

治療: 山田, 渋谷, 西村

管理: 西谷, 竹田, 山田

試験問題 学会事務局へ3月末日までに送付

##### 7. 今年度の試験問題について

二次筆記試験で写真のレイアウトに問題のあるものが見られた。問題の最終チェックも必要であるとの意見が出された。

##### 8. その他

二次試験に条件付合格(診断で分野別合格を認め, 合格出来なかった分野を翌年受験する制度)を設ける件に関して討議され, 継続審議とすることとした。

### 平成13年度第3回乳房撮影委員会

#### 第2回デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会議事録

日 時: 平成13年 9月14日(金) 15:00~17:00

場 所: 国立名古屋病院外来管理棟 5階 特別会議室

出 席: 石垣武男(担当理事), 遠藤登喜子(委員長),  
川島博子, 角田博子, 東野英利子, 松本満臣,  
今村恵子, 松本政雄, 永井優一, 藤田広志,  
堀田勝平, 小寺吉衛各委員  
榑原俊文(JIRA), 早乙女滋(富士写真フィルム),  
酒井芳雄(富士フィルムメディカル),  
深澤秀一(富士フィルムメディカル),  
鷺巣 誠(コダック), 安川麻子(コダック),  
大塚恭一(シーメンス), 落合是枝(日立メディコ),  
北村崇史(東洋メディック),  
佐々木 理(島津製作所), 加野亜紀子(コニカ)  
欠 席: 岡崎正敏, 石橋忠司, 平岡真寛, 西谷 弘,  
藤光律子, 鈴木隆二各委員

##### 議 題:

1. 平成12年度第2回乳房撮影委員会デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会議事録(案)について

今回から参加した委員に対し前回委員会までの経過を説明し,

議事録(案)を承認した。

2. デジタルマンモグラフィの現状評価

遠藤, 角田, 東野, 永井の各委員が各施設のデジタルマンモグラムとスクリーン・フィルムによる症例写真を持ちより, 全員で評価した。

遠藤(富士CR: 50ミクロン両面読取, ドライイメージャ)

角田(富士CR: 100ミクロン片面読取, ドライイメージャ)

東野( GEフラットパネル: 100ミクロン, ドライイメージャ)

永井(富士CR: 50ミクロン両面読取, 100ミクロン片面読取, ドライイメージャ)

フィルムベースの濃度は測定上, 2.9から3.8程度に分布し, 色調も機種による違いがあった。いずれの写真でも濃度階調の不足が認められた。特に低濃度領域の分解はすべての写真において指摘された。現状では高濃度領域と低濃度領域に対応する2種類のディスプレイが必要であるとの意見も出されたが, これは経済的にも不合理であり, 低濃度領域での階調の改良, ドライイメージャ用フィルムの改良を要請することとなった。古い機種と処理での画像も供覧され, それらの画像の改善努力を企業に要請することとなった。

3. 活動計画の再検討

ファントムによる客観的評価基準を検討する必要があると確認され, ファントムの選定とその使用法の検討を行ったうえで(10月末まで), 委員の施設(愛知県がんセンター, 国立がんセンター病院, 国立名古屋病院, 筑波大学, 東京都立府中病院)にて試行することとした。その際, 線量も計測する。

4. その他

JIRA榎原氏よりデジタルマンモグラフィの国際規格立案に向けてのJIRA/SC-2205委員会の活動(乳房用X線装置IEC企画書の審議とJIS規格の立案)が紹介された。今後, 国際情報も含めて情報を提供していただくことが要請された。

次回委員会は12月21日(金)16:00~18:00開催予定とした。

**学会・研究会等のお知らせ**

1. 第9回カメラ技術セミナー

2. 平成13年11月16日(金)10:00~19:00

3. 発明会館 B2 Fホール

東京都港区虎ノ門 2-9-14 TEL: 03-3502-5499

地下鉄 銀座線 虎ノ門駅下車徒歩5分

4. ミノルタ株式会社

光学機器事業本部 フィルムカメラ開発部14課

〒590-0821 大阪府堺市大仙西町 3-91

関 玲二 TEL:(072)241-9461 FAX:(072)245-2946

E-mail: reiji\_seki@ngw.minolta.co.jp

社団法人 日本写真学会

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5

東京工芸大学内

TEL: 03-3373-0724 FAX: 03-3299-5887

1. 第120回日本医学会シンポジウム

- 血管新生の基礎と臨床 -

2. 平成13年12月13日(木)10:00~17:30

3. 日本医師会館 大講堂

4. 日本医師会館内 日本医学会

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

TEL: 03-3946-2121(代)

1. 第5回MR先端/実践講座

「新しい撮像法の実践」

2. 平成13年12月15日(土)9:30~16:30

3. 千里ライフサイエンスセンター 5F サイエンスホール

豊中市新千里東町 1-4-2

4. 日本磁気共鳴医学会事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-24-9

五反田パークサイドビル 4F

TEL: 03-3443-8622 FAX: 03-3443-8733

E-mail: jmrm97@wa2.so-net.ne.jp

申込締切: 11月26日(月)ただし, 定員に達し次第締切

**独立行政法人放射線医学総合研究所**

**第5回ライフサイエンス課程 - 安全なRI利用のために - 研修生募集**

1. 目的

本課程では, 生物学・医学・薬学・農学などのライフサイエンス分野の研究に必要な, 放射線の基礎および放射性同位元素(RI)利用技術に関する講義・実習を行う中で, RIの安全取り扱いに必須の放射線防護の知識・技術を習得することを目的とする。

2. 募集人員及び研修期間

(1) 募集人員 約16名

(2) 研修期間 自 平成14年1月21日(月)

至 平成14年2月8日(金)

3. 応募資格

ライフサイエンス分野においてRIを使用しているかまたは使用しようとしている研究者, 技術者, および大学・大学院の理科系専門課程に在学する学生。

4. 申し込み期限

平成13年12月14日(金)国際・研究交流部研修課宛

5. 連絡先

〒263-8555 千葉県稲毛区穴川 4-9-1

独立行政法人 放射線医学総合研究所 研修課

TEL: 043-206-3048(ダイヤルイン)

FAX: 043-251-7819

E-mail: training@nirs.go.jp

ホームページ http://www.nirs.go.jp